事務事業評価シート　令和　2　年度事後評価・決算

令和　4　年　2　月　10　日時点

所管課	農水産課	担当班	振興班

事務事業名	コード 23500	農業経営基盤強化促進事業	予算科目	会計	款	項	目
				一般	6	1	3
施策体系	基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	旭市担い手育成総合支援協議会規約		
	施策の展開	2	安定した農業経営の推進	戦略事業	9	農業経営基盤強化促進事業	
	施策の展開			戦略事業			

事業種別
- ☑ 主な事業（重点施策）重1
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間

☑ 単年度繰返
- ☑ 平成 19 年度～
- ☐ 開始年度不詳

☐ 期間限定複数年度
- 平成 ___ 年度～
- 令和 ___ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

本事業は、安定した経営を行う農業者を育成することで、本市農業の健全な発展に寄与することを目的としている。
千葉県やちばみどり農業協同組合等の関係機関により構成されている「旭市担い手育成総合支援協議会」において、新規就農者の獲得や、市が認定した農業者（認定農業者）の育成を行う。
農業者の育成支援として、農産物の商談会や直売会等に参加してもらい新たなマーケティングの確立や農業者への営農指導、国・県の支援策の情報提供等を実施してきた。
これまでの事業内容を見直した結果、今後は次世代の農業を担う人材の確保に重点を置き、農林水産省等が開催する新規就農希望者向けの相談会に積極的に参加を行う活動方針に改める。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

認定農業者を対象とした各種施策を集中的・重点的に実施することとなり、認定農業者制度を推進することとなった。
農業者数は減少傾向にあるので、認定農業者の増加と平行して、農業者数の確保を行っていく必要がある。

④事務事業に関する課題・環境の変化

・景気の低迷、農業世帯数の減少、農業従事者の高齢化など

⑤事務事業に対する住民からの意見等

・農業者から「新たな農業経営指標を活用した経営分析など、農業者自らが作成すべき書類が年々増えており、農業者にとって負担となっている」との意見がある。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（2年度の決算）　単位：千円

1.需用費	9	消耗品　印刷製本
2.役務費		通信連搬
3.使用料及び賃借料		事務機器賃借
4.負担金補助及び交付金	162	旭市担い手育成総合支援協議会補助金

② 特定財源の内訳（2年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度増減理由	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、就農相談会が中止となったため

		単位	29年度（決算）	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 需用費	千円	48	15	58	9	15
	2. 役務費	千円					38
	3. 使用料及び賃借料	千円	17				
	4. 負担金補助及び交付金	千円	431	465	453	162	670
		千円					
	事業費計（A）	千円	496	480	511	171	723
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	496	480	511	171	723

従事職員数	常時 3 人	最大 ___ 人 × ___ 日 ＝ 延べ ___ 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

2年度実績（2年度に行った主な活動）

・農業経営改善計画作成に関する支援
・国、県補助事業等の周知、計画作成支援
・就農相談会への出展

	③ 活動指標名	単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	就農相談会への出展回数	回	4	6	3	0	2
イ	認定農業者数	件	781	790	791	793	805

目的

	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
対象	認定農業者
意図	効率的かつ安定的な農業経営の確立
対象	就農希望者
意図	旭市への就農に対する関心向上

	④ 成果指標名	単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	認定農業者のうち、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に定める所得目標達成割合（ 1経営体当り年間農業所得　600万円 ）	%	66.2	65.7	65.1	64.3	65.5
イ	就農相談会での相談者数	人	52	66	28	0	30

(4)事務事業優先度評価の結果

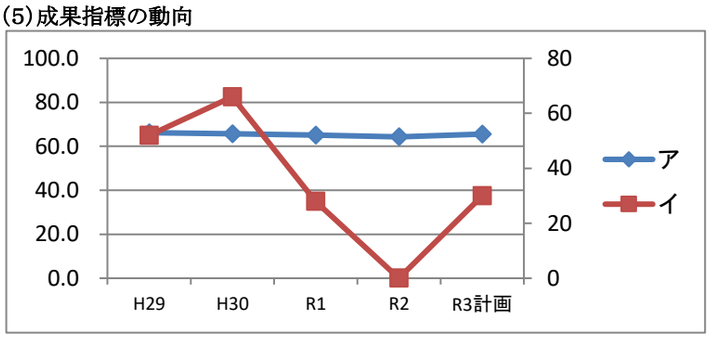
①成果優先度評価結果

		成果向上余地 かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率 下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果 成果優先度	①			
	②③			
	④⑤⑥	(4)		
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、就農相談会が中止となったため

成果動向 比較	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
ア	0.2	△0.5	△0.6	△0.8	1.2
イ	52	14	△38	△28	30

③ 今年度取組事項（3年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
年度内	・引き続き、申請者の更新手続きを進める ・新規申請者への申請書作成の支援 ・担い手確保のため就農相談会への出展をコロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ検討する

今後の方向性：☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し　☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

相談会への出展に加え、農業情報サイトに旭市の農業支援策等を掲載し、周知を図る